

健康を楽しみ 味わい 考えよう

第39回くまもと健康まつり ニュース n.o.1

2022年4月14日
発行：健康まつり事務局
電話 096-383-8707

今回の健康まつりは食糧支援・ 生活・健康相談会を実施します

この2年間コロナ禍により生活困窮者が増加しています。バイトも出来ない学生は生活に困窮しており、全国的に多くの団体が困窮市民や学生に支援活動を行ってきました。健康まつり実行委員会は、今年はいつもの健康まつりとは異なった形ですが、支援相談活動に取り組むことにしました。

熊本県、熊本市、熊本市教育委員会にも後援をいただきました。

会場は九州学院内の ブラウン・メモリアル・チャペルで

今回、実行委員の方の紹介により九学の教会をお借りすることが出来ました。学校側も「このような活動ならどうぞお使いください。」と言われ、当日の机や椅子も借用出来ました。



九学ボランティア部にも要請

九州学院にはボランティア部があり100名が在籍しています。

今回、ボランティア部にも要請して当日の誘導や会場案内等をお願いする予定です。



第39回くまもと健康まつり実行委員会

今年の実行委員会体制は以下の通りです

実行委員長 榎本光男 (熊本県労働組合総連合議長)
副〃〃 岡 裕二 (NPO法人全国水環境交流会)
〃〃 加藤 修 (熊本県健康友の会連絡会会長)
〃〃 池上あずさ (くわみず病院院長)
〃〃 吉川義秋 (熊本県勤労者山岳連盟)
〃〃 牧野両進 (熊商連共済会理事長)
〃〃 丸山光代 (きょうされん熊本支部)

事務局長 桑原山人 (八王寺の杜)

実行委員会団体 (順不同)

新日本婦人の会熊本支部、熊本県労働組合総連合、くわみず病院、熊本市民主商工会、熊本県勤労者山岳連盟、くまもと健康友の会、北部健康友の会、きょうされん熊本支部、熊本県建築労組東部支部、熊本県農民連、熊本市生活と健康を守る会、障害者(児)の生活を豊かにする会、砂取校区8町内自治会、砂取校区9町内自治会、個人(菅井、武田)

第39回くまもと健康まつり

日時 2022年5月8日(日)13:30より
場所 九州学院 ブラウン・メモリアル・チャペル
内容 支援物資配布、健康・生活相談

支援物資が続々と

米

きょうされん加盟の自立応援団様より155キロ、しんぶん折り込みを見た地域の2名の方から計20キロ、勤労者山岳会の方から玄米30キロ、帯山の方から30キロいただきました。

備蓄品

くわみず病院様より、備蓄品のフリーズドライ(ご飯・カレー・ビスケット・飲料水)



その他

4月7日に桑原事務局長と井上事務局次長がJA経済連を訪問して米の支援要請を行いました。くまもと健康友の監事の森さんは、知り合いの農家から無料でトマトをもらい受けて、当日配布します。また、田崎市場につながりのある方は「木村のあられ」様より、あられをいただく予定。この会社はこれまでの学生さんへの食糧支援にも数回協力しているそうです。ビッグイシュー事務局からは、50枚入りマスクが300セットも。地域の方からはカンパが振り込まれています。ひまわり薬局職員からはコーヒーやお菓子が寄せられています。

健康まつりまで残り3週間

支援物資等あれば取りにお伺いします。以下の取り組みにご協力ください。

- 1 支援物資・カンパ
※米はあと400キロ必要です
- 2 地域や団地向けピラ配布
- 3 小学校と自治会訪問